

事務事業	3004	広聴活動事業	担当課	総務課	担当係	行政機能向上係
------	------	--------	-----	-----	-----	---------

計画 画期 体計 系画	施策	18	町民と行政がともに課題解決に取り組むまちをつくる	予 算 科 目	会 計		
	取り組み方針	510	まちづくりへの参画を促進するための情報提供と情報共有を進める		項 目		
法令根拠条例等				個別計画			

実施期間	<input type="checkbox"/> 29年度のみ	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返	H17 年度より開始	<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年)	年度～	年度
------	---------------------------------	---	------------	------------------------------------	-----	----

【事業の目的・内容】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください)		2次評価会議に提出します (左にチェックを入れる)
庁舎5箇所に「意見箱」を設置し、町民からの意見・要望の収集と管理を行う。また、町政懇談会やパブリックコメント制度等で町民の意見を幅広く聴取し、町政への住民参画を図る。ホームページ上に「電子意見箱」を設置し、18年度から運用している。		
【業務内容(町職員の仕事内容)】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください)		
寄せられた意見に対する回答処理・管理。		
		千円
		千円
		千円
		千円
		千円

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)
29年度に行った主な活動(※箇条書きで記入) ・意見箱(庁舎、ふれあいセンター、生涯学習1・2号館、シーメイト)とホームページ上の電子意見箱に投稿された意見に対する回答などへの指導。回答後の分類や管理。
② 対象(誰、何を対象にしているのか)
町民
③ 意図(この事業で、対象をどのような状態にしたいのか)
・まちづくりに関する意見を出す。 ・町政の情報を知る。

④ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)		指標数値			
名称	単位	28年度	29年度	30年度	
ア 意見箱設置数	箇所	5	5	5 (見込)	
イ 懇談会開催数	回	3	2	5 (見込)	
ウ パブリックコメント案件数	件	2	3	2 (見込)	
⑤ 対象指標(対象の大きさを表す指標)					
名称	単位	28年度	29年度	30年度	
ア 人口	人	45,662	45,757	45,795 (見込)	
イ				(見込)	
ウ				(見込)	
⑥ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)					
名称	単位	28年度	29年度	30年度	
ア 意見数(意見箱)	件	目標	80	80	50
		実績	65	32	
イ 意見数(パブリックコメント)	件	目標	7	7	7
		実績	4	0	
ウ		目標			
		実績			
エ		目標			
		実績			
オ		目標			
		実績			

(2) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(千円)		28年度 (決算値)	29年度 (当初予算)	29年度 (決算値)	30年度 (当初予算)	31年度 (計画)	32年度 (計画)
	経費	国・県支出金、地方債等						
		受益者負担等						
		一般財源						
		合計(A)	0	0	0	0	0	
		(内臨時・嘱託職員人件費)						
		正職員人件費[按分](B)	2,198	2,860	2,494	2,074		
	トータルコスト(A)+(B)	2,198	2,860	2,494	2,074	0	0	

## 事務事業評価表(事業実施年度:平成29年度)

### (3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を開始したきっかけは何ですか?いつ頃どんな経緯で開始されましたか?	② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化していますか?	③ 事務事業に対して関係者からどんな意見や要望が寄せられていますか?(誰からの意見か明記)
もともと総務課庶務係において「町政に関して一言」投書箱を設置していたが、事後処理等統計的な管理等を行っていなかった。平成17年度広報室の設立に伴い、広く町民から意見を収集し、町政に生かすために広聴活動を開始。意見の収集、担当課への回答指導等を行うようになった。	国をはじめどの自治体においてもパブリックコメントを実施するようになった。また、インターネットを活用した広聴活動を行う自治体が増えてきた。	町長が「出前トーク」の名称で、町内会ごとに意見交換会を行っているが、いくつかの町内会から実施の要望がある。

### (4) 昨年度の評価結果の取り組み状況調べ

昨年度の事務事業評価結果		29年度の取り組み状況と今後の方針	
事業の方向性	平成29年度の取り組み概要及び期待される効果	実施状況	実施できなかった理由と今後の方針
<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 目的の見直し <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善  <input type="checkbox"/> 事務事業終了 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続		<input type="checkbox"/> 記述どおり実施できた (コメント必要ありません)  <input type="checkbox"/> 一部実施できた(理由→) <input type="checkbox"/> 実施できなかった(理由→)	

## 2 評価(SEE)及び全体総括の部 \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

### (1) 評価

	評価の理由
<b>目的妥当性評価</b> ① 上位施策への貢献度は大きいですか? ※総合計画を参照してください <input type="checkbox"/> 貢献度大きい(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度ふつう(理由→) <input type="checkbox"/> 貢献度小さい(理由→)	町民の意見をまちづくりに反映するためには、町民の意見を聴く広聴事業は欠かせない。
② 税金を使って達成する目的(対象と意図)ですか? (事業の目的は、総合計画の町の役割や基本方針に合っていますか?) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である(理由→) <input type="checkbox"/> 妥当性が低い(理由→)	町民からの意見を町政に反映させるためには、まずは町民からのまちづくりへの意見を広く集めることから始まるので、妥当である。
<b>有効性評価</b> ③ 成果がこれ以上向上する余地(可能性)はありますか? <input type="checkbox"/> 成果向上余地がある(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上余地がない(理由→)	数多くの意見が寄せられている。担当課においても真摯な対応を行っている。
④ 廃止・休止した場合、成果への影響はありますか? <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり(理由→) <input type="checkbox"/> 影響なし(理由→)	広聴の手段が狭くなる。
<b>効率性評価</b> ⑤ 現状の成果を落とさずにコスト(予算+事務従事時間)を削減する新たな方法はありますか?(広域連携や民間委託等の導入など) <input type="checkbox"/> ある(具体的な内容→) <input checked="" type="checkbox"/> ない(理由→)	広聴に関する類似事業が見当たらない。

### (2) 29年度を振り返って(全体総括・反省点)

庁舎設置の意見箱、電子意見箱に多数の意見・要望が寄せられている。多種多様な要望・意見があり、各担当課の協力のもと、真摯に対応してきた。今後も、意見・要望に迅速に対応できるようにしていく。パブリックコメントは、提案3件に対し、意見は寄せられなかった。意見箱の意見数は、HPでの運用方法が変更になったこともあり、前年度よりも33件減っている。

## 3 今後の方向性(30年度以降の計画と31年度予算への反映)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(複数選択可)	(2) 平成30年度以降に取り組む内容と期待される効果
<input type="checkbox"/> 廃止・休止(理由→) <input type="checkbox"/> 目的の見直し(内容→) <input type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上)内容→ <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減)内容→  <input type="checkbox"/> 事業終了 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続	